

# 連携医院のご紹介

今回は“患者さんの気持ちを第一に考えること”を何よりも大切にしておられます小野耳鼻咽喉科 小野邦彦副院長先生です。



小野耳鼻咽喉科スタッフ

## 医療法人社団 小野耳鼻咽喉科

〒736-0083  
広島市安芸区矢野東4-1-6  
電話/082-888-2113  
院長/小野 文孝  
副院長/小野 邦彦  
診療科目/耳鼻咽喉科



### ○いつ頃開業されましたか。

昭和49年2月12日に父、小野文孝院長が開業しました。平成21年には、改装に合わせて内視鏡やレーザーなどの設備を導入し、私も県病院を退職し、副院長に就任いたしました。

### ○診療で大切にしていることは何ですか。

患者さんが何を求めているのかをしっかりと見極めることです。特に込み合う時間帯には短い間で患者さんの思いを把握するために、簡潔でわかりやすい説明を心がけております。

### ○開業医のやりがいについて教えてください。

やはり、患者さんが治ることですね。病院での勤務医時代と比べ、開業医としてより患者さんの近くで患者さんがよくなっていくのを診ていけることが何より嬉しいです。



受付 待合室

### ○地域医療連携ネットワーク(KBネット)についてひと言お願いします。

KBネットは患者さんの状態だけでなく治療の方針や過程もわかりますので、新しく患者さんを紹介する時には前もって県病院での治療の流れを詳しく説明することができます。KBネットはそうした情報すべてが見られるので大変良いですね。



小野耳鼻咽喉科外観

#### 【取材後記】

KBネットをご活用して下さってありがとうございました。患者さんにとっても、心強いことだと思いました。

## 県立広島病院からのお知らせ

### 3月のがんサロン

**開催日** 平成26年 3月 12日(水)  
**時間** 14:00~15:30  
**場所** 新東棟2階 総合研修室  
**内容** 交流会  
**対象** 悪性腫瘍(がん)で通院または入院されている患者さん及びそのご家族  
**問合せ先** 地域連携センター  
総合相談・がん相談室  
TEL:082-256-3562  
(担当:佐々木)

### がん医療従事者研修会

**開催日** 平成26年 3月 19日(水)  
**時間** 19:00~20:30  
**場所** 中央棟2階 講堂  
**テーマ** 脳腫瘍の最新治療  
**講師** 副院長(脳神経外科主任部長)/木矢 克造 ほか  
**対象** 医療従事者及びその関係者  
**問合せ先** 総務課管理係(担当:永岡)  
TEL:082-254-1818  
内線(4273)

### 医師 人事異動

**退職** 2月28日付  
皮膚科 部長  
行徳 英一  
**新任** 3月1日付  
皮膚科 部長  
森本 謙一

## KBネット

現在の参加医療機関は

**152** 機関です。  
(2月24日現在)

問合せ先 地域連携センター  
電話(082)252-6228(直通)

### 紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他2,620円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承下さい。

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。  
県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

## かんたんストレッチ

リハビリテーション科  
理学療法士  
竹岡 亮太

肩こりとは、首から肩・背中にかけての、筋のツッパリ感とたるさ、重さ、疲労感、時に痛みを伴う症状の総称です。肩こりの一番多い原因は、長時間同じ姿勢で過ごすことによっておこる、血液の循環不良です。

今回は肩こりに効く体操を紹介します。体操の目的は、首や肩のまわりの筋肉をほぐすことや、血液の流れを良くすることです。血液の流れが良くなれば、十分に酸素と栄養が供給され、老廃物が取り除かれます。そうすれば、こりが軽くなることを見込めます。ただし、体操を行って痛みのある人は無理をせず中止するか、痛くなる手前の範囲で体操を行うようにしてくださいね。

肩こりに悩まれている方は  
是非やってみてくださいね!



Step 1

胸をそらして、後ろで手を組み肘を伸ばします。



Step 2

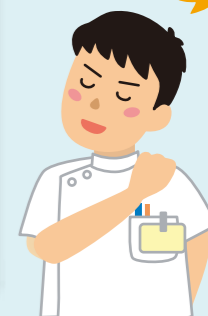
首まわし運動 首を前後左右に、ゆっくりと回します。数回~10回繰り返します。



Step 3

肘あおぎ運動 ①背筋をのばして、頭の後ろで手を組み、両肘を閉じた姿勢から始めます。②ゆっくりと両肘を外側へ開き、胸をはります。③数回~10回繰り返します。

長時間同じ姿勢の時は  
適度に身体を  
ほぐしましょう!



# 診療科だより

第27回

糖尿病・内分泌内科

糖尿病患者さんを対象とした専門診療を行っています

今回は、糖尿病・内分泌内科の久保主任部長に直撃インタビューです。

## ■はじめに「糖尿病・内分泌内科」について教えてください。

糖尿病はインスリンというホルモンの作用不足が原因で、高血糖が慢性に持続する病気です。糖尿病が強く疑われる人は全国に950万人いると推定されており、その数は年々増加しています。糖尿病は初期には自覚症状に乏しいため、治療せずに放置すると慢性の高血糖が長期間持続します。慢性の高血糖が長期間持続すると血管が傷み、糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害が起こってきます。「糖尿病・内分泌内科」では、糖尿病患者さんを対象として専門診療を行っています。平成24年度に当科に糖尿病教育入院をされた患者さんは290名でした。



主任部長  
久保 敬二

## ■糖尿病・内分泌内科では、どのような診療がどんなスタッフによって行われていますか。

当院は糖尿病学会の認定教育施設です。医師3名で外来と入院診療を担当しています。糖尿病教育入院（2週間）の患者さんに対しては、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、歯科衛生士がチーム医療で必要な教育と指導を実施しています。入院中に糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害、動脈硬化症（虚血性心疾患、脳梗塞）の有無について検査を行います。合併症を認めた場合は眼科、腎臓内科、脳神経内科、循環器内科、脳神経外科と連携を取りながら診療しています。糖尿病腎症から腎不全となり、新規透析導入となる患者さんが全国で年間17,000人に達しています。医師、看護師、管理栄養士がチーム医療で透析導入を阻止する透析予防外来を開設しています。糖尿病壊疽からの下肢切断を予防するため、医師の指導のもとで、専任の看護師が足の手入れを指導するフットケア外来も毎月2回実施しています。

### 糖尿病教育入院

- 医師
- 看護師
- 管理栄養士
- 薬剤師
- 検査技師
- 歯科衛生士

### 合併症を認めた場合

- 腎臓内科
- 循環器内科
- 眼科
- 脳神経内科
- 脳神経外科

各診療科と連携しています

## ■最後に、糖尿病・内分泌内科として心がけていることを教えてください。

糖尿病の診断・治療は日々進歩しています。当科では最新の医療技術を時期を逸することなく、タイミングよく患者さんに提供していきたいと考えています。連続グルコースモニタリング装置を使用することで、24時間の血糖プロフィールの詳細が把握できることが明らかとなりました。当科では連続グルコースモニタリング装置を糖尿病教育入院の患者さんに装着していただいています。血糖変動の詳細分析は、適切な治療方針決定に役立っています。



頻回インスリン皮下注射療法でも血糖コントロールが困難な患者さんに対しては、専用の注入ポンプを用いて、持続皮下インスリン注入療法を行っています。また、これまでの経口血糖降下薬とは作用機序が異なる新しい経口血糖降下薬が近日中に使用可能となる予定です。従来の経口血糖降下薬では、血糖コントロールが不十分な患者さんに対しては、従来の経口血糖降下薬を新しい経口血糖降下薬に変更したり、従来の経口血糖降下薬に新しい経口血糖降下薬を追加したりして治療することも可能です。しかしながら、新薬には予期せぬ副作用が起こる可能性があることも否定できません。新薬を投与する際には、患者さんに有害事象が起こらないよう、慎重に経過を観察しながら使用していく必要があると考えています。



糖尿病・内分泌内科スタッフです

# 外科医の独り言

no.30

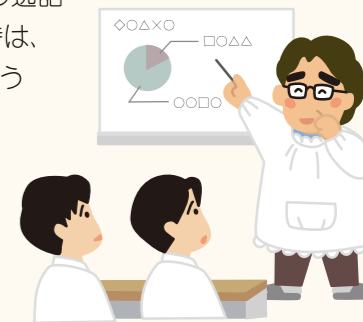
## — 近頃の若い奴は… —

今回の「外科医の独り言」に何を書こうかと思いつき詰まっている時、30歳の日本人女性研究者がiPS細胞よりはるかに簡単に、効率よく、安全な万能細胞を作製したというとんでもないニュースが飛び込んできました。この「世紀の発見」をより衝撃的なニュースにしたのは「約150年続いた生物学の歴史を愚弄するのか」といって当初論文を不採用にした有名科学雑誌の研究者（おそらくこの分野の重鎮）のコメントです。この重鎮が論文主を30歳の女性と知っていたかどうかはわかりませんが、コメントの裏には「近頃の若い奴はとんでもないことを言う」的な感情を持っているような気がするから」といって着ていた割烹着、どうもこの世紀の発見とのギャップも良いですね。

ある程度の年齢に達した皆さんは「近頃の若い奴は…」という言葉一度ならずとも使われたことがあると思います。私も使うまいと思いつついつい言ってしまう。「近頃の若い奴は…」は「挨拶ができない」「すぐに文句を言う」などと後にくる言葉が決まってマイナスイメージの枕詞です。また、このフレーズを使っているのはわれわれ庶民だけかと思いついていましたが、実は昨年朝日新聞の天声人語で東京大空襲が取り上げられたとき、以下のような記述があり、物議をかもしたそうです。「話半分に聞くにせよ」と一応ことわりはありましたが「戦中派には恨み重なるB29を、昨今の若者は濃い鉛筆のことか?と問うそうだと。この記事に対して若者からネット上では、鉛筆ならB29じゃなくて29Bだとか、B29なら地下29階だとか、大いなる反論というかつっこみがあ

りました。しかし、そういつて説教をされていた若者も年を取るにつれて同じフレーズを発するようになります。これはどういうことなのでしょう?一説によると約4000年前の古代遺跡の壁に「近頃の若い奴は…」というフレーズが残されているとのこと。ということは、古代より現在まで「近頃の若い奴は…」と綿々と言われ続けてきたということになります。この論理で行くと古代の若者が一番優れていて、現代の若者が最も劣るということになりますが、それはあり得ない話です。おそらく「昔」と今「で時代が違うというか、環境が違うので、時代（環境）に即して人間は進化しているのだと理解すれば「近頃の若い奴は…」と言わなくて済むかもしれません。

人間は、どうも昔の記憶を美化する能力に長けているのかもしれない。昔の失恋話がいつの間にか歌になって、美しい思い出になり、昔の失敗談がいつの間にか、今の自分を作り上げたという自慢話になってしまいますよね。この言葉の裏では、俺たちが若いころはこうだったという自慢話がしたいだけかもしれません。古今東西の偉大な外科医の名言を集めた本の中に「今日習ったことの50%は、5年後には時代遅れ」、「外科医が自分の逸話を話すようになった時は、引退を考える時」という名言があります。これから私も飲んだ時にも固く口を閉ざして若い外科医を前に自慢話をしないよう心がけます。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長)  
板本敏行(いたもと としゆき)

## 病棟編

### 看護部だより

#### 東8病棟

東8病棟は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、歯科・口腔外科の病棟です。耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、中耳手術と頭頸部がん治療に力を入れています。中耳手術の症例数と治療成績は全国トップレベルで、遠隔地より手術を受けに来られる方もいます。がん治療では、放射線科や臨床腫瘍科と連携をとっています。眼科は、白内障、緑内障、網膜硝子体手術に力を注いでいます。白内障は日帰り手術も行っていますので、外来で医師にご相談下さい。

歯科・口腔外科は、口腔がん、顎顔面外傷などの患者さんを受け入れています。それぞれの科は関連性があるため、週1回の合同カンファレンスで放射線科医師も交え、患者さんにとっての最善を検討しています。入院、退院の患者さんが多く、手術件数の多い(院内全手術の1/3を占める)病棟ですが、スタッフは声をかけ合いチームワーク良く働いています。患者さん、ご家族との一期一会を大切に、心のこもった暖かい看護が提供できるよう日々取り組んでいます。



声を掛け合い、日々取り組んでいます